

第一回 監督が怒ってはいけない大会 in 神戸

開催企画提案書



2023年5月

主催 監督が怒ってはいけない大会 in 神戸 事務局
共催 一般社団法人 監督が怒ってはいけない大会
後援 一般財団法人兵庫県バレーボール協会
兵庫県ヤングバレーボール連盟

「益子直美カップ 監督が怒ってはいけない大会」

元全日本バレーボール選手の益子直美氏が選手時代に受けた抑圧的な指導方法をバレーボールを含むスポーツ競技の中で、選手を尊重し、自分で考え創意工夫し、競技を楽しめるような指導方法に変えていくべく「監督が怒ってはいけない大会」を始めました。

指導者の中には、それが抑圧的な言葉や態度で選手たちを萎縮させてしまい、100%以上のパフォーマンスを引き出すことが出来ていないことに気付いていない人が多く、同時に、選手にプレーや練習内容について理解し、自分で考える力、行動する力を育成するような指導ではない「トップダウンの命令形」が多いということがわかりました。

この古い指導体質がバレーボール人口が増えない理由の一つであり、選手も、指導者の言う通りにしていれば良いという自分で考え、行動する力の無い選手が多く、心からバレーボールを楽しんでいるようには見受けられません。

同プログラムでは、指導者には選手を「認め」「褒め」「共に喜び」ながら成長させる指導方法をレクチャーし、実際に練習や試合を通じて体感してもらいます。

また選手も、ただ褒められて楽しいというだけではなく、「ルールやマナーを守らない」「取り組む態度や姿勢」「いじめや悪口」などスポーツ選手として、人として守るべきことができなかつた場合には、注意を受けることについて真摯に受け止めるよう指導します。

バレー元日本代表 益子さん立ち上げの大会

バレーボール元全日本代表の益子直美さん(56)が子どもたちのスポーツ環境改善のために立ち上げた「監督が怒ってはいけない大会」は、競技の垣根を越えて広がっている。行き過ぎた指導がかねて問題視されてきた野球では、指導者の意識改革に草の根活動を展開している。

12月10日、新潟市内で開かれた「新潟県青少年野球団体協議会」主催のイベントに益子さんの姿があった。各世代の野球指導者に対し、現役時代に受けた暴力や暴言を赤裸々に告白。「只今試合が楽しいと思ったことが一度もなかった。怒る指導では選手の自主性を育めない」と断言した。

益子さんは人受アニメ「タックル」の影響でバレーボールを始め「野球で言えば『巨人の星』。昭和時代のスポーツの価値観が残っている部分がある」と両競技の類似性を挙げる。

「監督怒らず」他競技に波及

野球、サッカーでも取り組み

2015年に始まった「監督が怒ってはいけない大会」は秋田、福岡、神奈川県など県別バレーボールが行われ、22年6月には田川河辺のスポーツパークを初めてサッカーが開催された。益子さんは「私がやるばかりではダメ。その競技経験のある方に聞いてもらえたらいい」と野球の参加も呼びかけた。

新潟県青少年野球団体協議会のイベントでは、18年に新潟県野連が独自に投球数制限の導入を表明(後に撤回)したことをきっかけに有識者会議が設置され、革新的な取り組みを打ち出してきた。賛同者の一人、プロ野球日本ハムの大塚アカト部長(52)は「野球が率先して正しい方向に進めないといい、令和の時だから携わった者の責任だ」と言葉に力を込めた。

新潟市内で開かれたイベントで、自身の経験を語るバレーボール元女子日本代表の益子直美さん＝10日



【益子直美プロフィール】

1966年東京都葛飾区生まれ。
中学入学と同時に部活でバレーボールを始める。
地元共栄学園高校に進み2年の春の高校バレーで、
ジャンピングサーブ、バックアタック(女子選手では初)
を武器に大活躍。
優勝候補の八王子実践を破り準優勝。
高校3年生秋に日本代表入り。ワールドカップ、世界選手権
などに出場。

90年、所属のイトーヨーカドーではエースとして初優勝に貢献。
92年、現役引退後アシスタントコーチを経てバレーボールの解説やオリンピックの
キャスター、バラエティ番組まで、幅広い番組に出演。

現在は現役時代の高圧的な指導の経験から、子どもたちのスポーツの環境を整えるため
『監督が怒ってはいけない大会』を開催。

○バレーボールとの関わり

* 障害者スポーツ

1996年～	シッティングバレーボールボランティアに参加
1998年10月	シッティングバレーボール世界選手権(イラン) 日本代表マネージャーとして参加
2004年9月	アテネパラリンピック NHK解説
2021年8月	東京パラリンピック NHK解説

* バレーボール指導

1992年～93年	イトーヨーカドーバレー部アシスタントコーチ
2015年～2018年	淑徳大学バレー部監督

* LGBTQ+バレーボール

2004年～2014年 LGBTバレー大会『MSKカップ』主催

* 『監督が怒ってはいけない大会』

2015年～福岡県宗像市にて『監督が怒ってはいけない大会』小学生バレーボール大会を開催
現在は藤沢市、秋田県、山口県、高知県、佐賀県などに広がっている。
他競技でもサッカー、ハンドボール(高校生男子)を開催

○資格

2019年

- ・アンガーマネジメントファシリテーター
- ・スポーツメンタルコーチ(一般社団法人フィールドフロー認定)

2021年

- ・スポーツマンシップ公認コーチ

○役職

『一般社団法人監督が怒ってはいけない大会』代表理事(2021年4月ー)
日本バレーボール協会理事(2021年6月ー)
日本スポーツ協会 少年団本部長(2023年6月ー)



【これまでの実績】

- 「監督が怒ってはいけない大会」**福岡大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回 2015年1月12日 50チーム/700名参加
第二回 2016年1月10日 48チーム/680名参加
第三回 2017年1月8日 45チーム/700名参加
第四回 2018年1月7日 51チーム/720名参加
第五回 2019年1月13日 45チーム/680名参加
第六回 2020年1月12日 51チーム/700名参加
第六・五回 2021年12月21日(WEB) 21チーム/300名参加
第七回 2022年1月9日,10日 25チーム/390名参加
第八回2023年1月 24チーム/390名参加
- 「監督が怒ってはいけない大会」**藤沢大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回 2017年12月2日
第二回 2018年11月25日
第三回 2019年9月29日
第四回 2020年11月22日
- 「監督が怒ってはいけない大会」**秋田大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回 2021年11月27日, 28日 8チーム/130名参加
第二回2022年10月 9チーム/130名参加
サッカー
第一回2022年6月 8チーム/180名参加
- 「監督が怒ってはいけない大会」**山口大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回2022年3月26日, 27日 12チーム/160名参加
第二回2023年3月 16チーム/220名参加
- 「監督が怒ってはいけない大会」**高知大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回2022年9月 24チーム/260名参加
- 「監督が怒ってはいけない大会」**佐賀大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回2022年11月 8チーム/100名参加
- 「監督が怒ってはいけない大会」**福岡大学大会**
益子直美カップ小学生バレーボール大会
第一回2023年1月 12チーム/160名参加



延べ457チーム 6,600人 + が参加
徐々に全国へ、バレーボール以外の競技へと広がっている

【監督が怒ってはいけない大会 in 神戸 実施要項】

日時：2023年6月24日(土) 9:00～18:00

会場：株式会社アシックス アトリウム・会議室



スケジュール：

9:00	集合・受付
9:15 - 10:00	開会式・「スポーツマンシップ」について
10:00 - 12:00	選手 ：アシックスミュージアム見学(グループに分かれて)
10:15 - 12:00	指導者・保護者 ：「アンガーマネージメント」について
12:00 - 12:45	昼食・着替え
12:45 - 13:15	写真撮影
13:15 - 14:00	ウォーミングアップ
14:00 - 17:00	監督が怒ってはいけない試合
17:00 - 17:30	片付け・着替え
17:30 - 18:00	表彰、閉会式



参加者：

(参加チーム調整中)

セミナー参加者：

- ・ 参加チーム指導者
- ・ 保護者

【招待(予定)】

- ・ 兵庫県バレーボール協会
- ・ 兵庫県バレーボール協会 / 高体連、中体連、小学生連盟、ヤングバレーボール連盟
- ・ 兵庫県教育委員会 スポーツ振興課
- ・ 神戸市教育委員会 文化スポーツ局
- ・ 神戸スポーツ協会
- ・ 明石市：山下市会議員
- ・ メディア(新聞、テレビ、ラジオ局など)



参加料：6,000円 / チーム

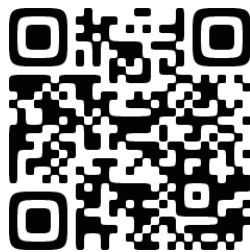
* 各チームに公式バレーボール 1 個進呈

【神戸大会開催の目的と実施内容詳細】

- **スポーツマンシップについて(45分)**：参加者全員で講義を聞きます
- **アシックスミュージアム見学(2時間)**：神戸発祥の企業の歴史、スポーツ用品の歴史を学び、歴代トップアスリートが使用した靴や用具を見学することで、地元企業、スポーツをより身近に感じてもらいます。30人ぐらいくずつのグループに分かれて順に見学していただきます。待ち時間には練習など自由に過ごしてください。
- **指導者対象「アンガーマネージメント」セミナー (1時間45分)**：怒りやフラストレーションコントロールする「アンガーマネージメント」について、マインドリセット(気持ち、思考、言動の切替え)する方法などについてお話しします
- **ウォームアップ(1時間)**：チームビルディング、チームワーク、自主性を養うことを目的とし、チームを超え、集まった選手たち全員で手分けしてコート作り、準備運動、練習を行います。練習では他のポジションも体験することで、相互理解を深めます。
- **監督が怒ってはいけない試合(3時間)**：
8チームを2組に分け、それぞれの組内で総当たりで試合を行います
25点制 2セットマッチ
デュースなし
テクニカルタイムアウト1セットに1回 2分
審判は指導者が、副審、ラインジャッジは選手が行う
試合に参加していない選手は試合の応援をする
指導者がNGワードを発言したり行動をとった場合には
“X”マスクが渡される
- **表彰** 参加者全員が投票して決める「ベストスマイル選手」「ベスト応援賞」「全力プレー賞」「ベストスマイル監督」を終了後に発表、表彰。

【ご参加にあたり】

1. 参加申込書(QRコード↓)にご記入ください(6月10日まで)



2. 集合時間：6月24日(土)午前9時
3. 集合場所：株式会社アシックス 正面玄関前
神戸市中央区港島中町7丁目1番1



4. 持ち物：着替え、タオル、飲み物、昼食、ボール

5. お願いと注意事項

- 競技中の指導者と選手の負傷については一切責任を負いません。各チームにて必ずスポーツ保険に加入してください。
- 保護者の方や関係者、施設については大会本部にて保険に加入しております。
- 災害など緊急時対応のため、参加者のお名前リストをお持ちください。終了時に返却いたします。
- 施設に駐車場はないので、近隣のコインパーキングをご利用ください(アシックス東側)
- 一旦施設内に入場されますと緊急時以外は、出入りはできませんので、必要なものをお持ちください。
- 施設内は終日禁煙です。
- 活動時に撮影する写真・映像などの使用につきましては、各選手ごとに別紙の承諾書をお読みいただき、ご理解・ご協力いただける場合には、必要事項をご記入の上提出してください。
- 写真や動画の撮影は自由です。楽しい様子などをぜひSNSなどに投稿してください。ただし、特にお顔が写る場合には、個人情報、肖像権にご注意ください。
- 投稿の際には # 監督が怒ってはいけない大会 や # バレーボール大会 などのハッシュタグをつけてもらえるとう嬉しです。
- アシックスの社名やロゴが目立つ写真のSNS投稿はご遠慮ください。
- 施設利用につきましては、みんなでマナーを守って利用してください。
- 不明な点は事務局またはスタッフにお尋ねください。

活動時に撮影する写真・映像などの使用に係る承諾について

「監督が監督が怒ってはいけない大会 in 神戸」では広報などに使用する目的で、活動中にスタッフが撮影を行い、写真や映像、制作物、感想文などの著作物を報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディア含む)などに掲載することがあります。ご承諾いただきますようお願い致します。

当大会がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(または保護者)から削除の依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物などについては対応出来かねますのでご了承ください。お手数ですが、承諾書に必要事項をご記入の上、ご提出ください。

ご記入いただきました個人情報につきましては、管理責任者を定め、紛失や漏洩が発生しないように努めます。第三者に提供することはありません。

【本件に関するお問い合わせ】

監督が怒ってはいけない大会 in 神戸 事務局

Email : hyogo.sp@gmail.com

活動時に撮影する写真・映像などの使用に係る承諾書

当大会に係る肖像及び著作物を「監督が監督が怒ってはいけない大会 in 神戸」の広報などの目的で使用することを承諾します。

令和 年 月 日

監督が監督が怒ってはいけない大会 in 神戸 殿

参加者氏名

保護者氏名

電話番号

E-Mail

協 賛 株式会社モルテン 様
 株式会社ミカサ 様

協 力 株式会社アシックス
 オフィスZen (記録・録画・編集)

本取組みへのご賛同者様
植月正章様

監督が怒ってはいけない大会 in 神戸 事務局
近藤ひふみ 090-1078-7493 / 三上直美 080-4988-2592
Email: hyogo.sp@gmail.com